

平成21年度  
「大阪市子どもの読書活動推進連絡会」  
実施報告書

日時 平成22年3月30日(火) 10時～12時

会場 大阪市立中央図書館 大会議室

## 平成21年度 大阪市子どもの読書活動推進連絡会

1. 日 時 平成22年3月30日(火) 午前10時～12時
2. 場 所 大阪市立中央図書館 5階 大会議室
3. 議事次第
  - (1) 事務局報告
    - 平成21年度「大阪市子ども読書活動推進事業」について
    - 施設ガイドブック「タッチ」
    - 子ども読書の日記念事業
    - 平成21年度の図書館による子ども読書活動推進関連事業について
    - 平成21年度「学校図書館活性化事業」について
    - 平成21年度区の子どもの読書活動推進連絡会について
    - 平成21年度「One Book One OSAKA」事業実施状況について
  - (2) 区の子どもの読書活動推進連絡会からの活動報告
    1. 夏休み期間の子どもボランティア活動の取り組み(旭区)
    2. 中学生によるおはなしボランティア講座報告(天王寺区)
    3. 言語力の向上をめざす小学校の取り組み～学校図書館の充実で子どもたちの「読みたい」を支援～(中央区)
  - (3) 意見交換

## 目 次

○区の子どもの読書活動推進連絡会からの活動報告－3つの区から－	
1. 夏休み期間の子どもボランティア活動の取り組み(旭区) ……	p. 1
2. 中学生によるおはなしボランティア講座報告(天王寺区) ……	p. 2
3. 言語力の向上をめざす小学校の取り組み～学校図書館の充実で子どもたちの「読みたい」を支援～(中央区) ……	p. 3
○意見交換 ……	p. 5
○当日配布資料	
平成21年度 大阪市立図書館子ども読書活動推進関係事業まとめ ……	p. 7
平成21年度 子ども読書活動推進事業について(市民学習振興担当分) ……	p. 9
平成21年度 学校図書館活性化事業のまとめ ……	p. 9
平成21年度 学校図書館活性化事業 中間報告 ……	p. 11
平成21年度 学校図書館活性化事業 実施校一覧 ……	p. 16
平成21年度 各区子どもの読書活動推進連絡会 報告 ……	p. 17
平成21年度 One Book One OSAKA 事業のこれまでの経過 ……	p. 19
活動報告1 資料 ……	p. 20
活動報告2 資料 ……	p. 23
活動報告3 資料 ……	p. 25
大阪市子ども読書活動推進計画－概要版－ ……	p. 29
大阪市子どもの読書活動推進連絡会設置要綱 ……	p. 30
出席予定者名簿 ……	p. 31
事務局名簿 ……	p. 32

## 1. 夏休み期間の子どもボランティア活動の 取り組み（旭区）

### 【本のとびら 高石さん】

旭図書館の夏休み子どもボランティア養成講座は平成 18 年度から始まった。3 年目である平成 20 年度からは、私たちのグループ「本のとびら」も子どもボランティア養成講座にかかわってきた。講師のお話のあと、実際子どもたちが読み聞かせを実演するときによいしよに行事を行ってきた。今年度（平成 21 年度）は、その経験をもとに「本のとびら」のメンバーだけで講座を進めていった。その取り組みについて、大阪市の広報番組（ケーブルテレビ番組「おおさか大好きキッズ」(約 5 分)）から取材があり、活動状況の放映があったので、ご覧いただきたい。

#### ービデオ上映ー

《内容》 講座参加者の小学 4 年生と 5 年生の 2 名が進行役になって、「子どもボランティア養成講座」の内容を紹介していった。講座は、夏休みの期間を利用して全 6 回で行われた。絵本の読み聞かせや紙芝居、パネルシアターなどのやり方を学び、練習して、4 回のおはなし会を行った。どの絵本を読むかも講師のアドバイスを参考に自分で選び、プログラムも考えて、間に手遊びなどもやった。また、旭図書館の職員の指導のもと、カウンターでの貸出・返却や書架の整頓などの図書館の仕事も体験した。

その様子の映像が流れたあと、進行役の 2 名が講座を受けたメンバーに、「どうしてこの講座を受けようと思ったか」「ボランティアを体験して、どう感じたか」などをインタビューした。「本が好きで、将来保育士か幼稚園の先生になりたいから」「大きくなったら小さい子に絵本を読んであげるグループにはいりたいから」などそれぞれのきっかけを語った。また、「実際やってみるとドキドキしたけれど、読み終わったときの快感がすごくよかった」と参加

した感想を述べた。

#### ービデオ終了ー

今ご覧のように小 1 から中学生までの子どもボランティア 21 名が誕生した。そのなかで、読み聞かせを中心にするグループと、図書館の仕事に興味があって、仕事中心にボランティア活動をするグループとに分かれて日程を組んだが、ほとんどの小学生は両方の体験を希望した。中学生は仕事体験を希望していた。ご覧いただいたように子どもたちが絵本を選んで、練習して、プログラムを自ら考えておはなし会を開催した。はじめは恥ずかしがっていたりしたが、今の子どもたちは場慣れをしているというか、はきはきと読むことができる、活発な子どもたちが集まってくれたように思う。

### 【旭図書館 藤井館長】

「子ども図書館ボランティア養成講座」は、去年まで 10 人ぐらいの参加者だったが、今年はこども青少年局の「サマースクールシティ事業」のひとつとして広報をしていただいた結果、区外の子たちもかなり集まり、21 人中ほぼ半分が、区外からこの講座に通ってきてくれた。そのような状況なので、区内の子どもの参加者も含め、全体的にとっても子どもたちが元気で積極的に活動していたように感じた。そのぶん、指導していただくボランティアのみなさんは、昨年の経験があったとはいえ、対応する子どもたちの人数が昨年より 2 倍になったわけで、それだけでもいろいろな準備や当日の進行など、大変だったかと思う。また、大人がお膳立てをして、読む絵本をあたえて読むだけという方法ではなく、子どもたちが自分で絵本を選んで、パネルシアターや紙芝居などをボランティアから教えてもらったなかで、自分たちで何をするか考えてプログラムを組んだので、子どもたちも非常にやりがいがあったと思う。

## 2. 中学生によるおはなしボランティア講座 報告（天王寺区）

### 【夕陽丘中学校 山口先生】

★放送部のメンバーでおはなし会をしてみたい

夕陽丘中学校は、12 クラス・特別支援学級 2 クラスの合計 14 クラスで、私は放送部の顧問を 4 年間させていただいた。放送部の生徒は、どちらかという活発ではない子が多い。マイクの前では話せるが、いざ人前になると恥ずかしがったり、遠慮する子が多い。そんな生徒たちに「声を人に届ける」ということを実感してもらうために、今から 3 年前、天王寺図書館の館長に図書館でおはなし会をさせてもらえないか打診した。図書館司書の指導を受けて、2007 年 6 月から月 1 回の割合でおはなし会をさせてもらった。

20 年度に子ども読書応援団派遣事業に申し込みを行い、地域のボランティアである、絵本の会天王寺・天王寺おはなしぼちぼちの皆さんを紹介していただいた。3 月に中学 1 年生を対象にブックトーク、読み聞かせなどを実施していただいた。ボランティアさんとのつながりができたので、この関係を続けていければと思っていたところ、今年青少年おはなしボランティア講座があるということを知り、応募した。活動内容はレジメを参照。これまでのおはなし会では、自分の好きな本を選んでしたが、今回の講座を通じて、聞いてもらう子どもたちの対象年齢を考えて本を選ぶことを学んだ。

思春期を迎えた子どもたちにとって、パネルシアターをすることは難しい面もある。今回の講座を終えて、手遊び、パネルシアターで聞き手の心をなごませることの大切さに気づき、講座をうけてからは必ず入れるようになった。

最終の五条幼稚園での発表会が生徒たちにとっても、とても良かった。プログラムをボランティアさんに指導を受けながら作り、幼稚園の子どもたちにすごく喜んでもらえた。それが大きな自信・収穫になった。それ以降、五条幼

稚園でのおはなし会の機会を持たせてもらっている。中学生自身が「本を媒介にして楽しい時間を提供する」という意識へと変わった。

★中学生と図書館とのつながり

天王寺図書館では職業体験等でお世話になっていた。今回の講座を通じて、参加したメンバーはそれまで以上に図書館に足繁く通うようになった。また、図書館に来年の修学旅行に向けての調べ学習の本を集めてもらったり、中学校と図書館のつながりも少し太くなったと思う。

★これからの課題

中学生の趣味が多様化するなかで、おすすめの本を問うと半数以上が具体的なタイトルをあげられるが、朝読の時間を楽しいと感じている生徒は少ない。今年度のアンケートでは読書を好きですか？との問いには「好き・どちらかといえば好き」を併せてもどの学年も 3 分の 2 を越えていないのが現状で、学校図書館利用している生徒は半分を満たない。また、校区内の天王寺図書館を利用したことがある生徒は 4 分の 1 に満たない結果となった。どうやって図書館を利用する機会を増やすことができるかが今後の課題である。

今回紹介してもらったボランティアさんとのつながりをより太くして、図書館とも連携していきたい。

### 【絵本の会天王寺 河野さん】

中学生が楽しんで参加し、自主的におはなし会を開催できることを念頭に講座を行った。

絵本のリスト・幼稚園・保育園でのおはなし会について詳しく書いたものを用意し、興味をもってもらえるようにプログラムもレジメにつけた。

1 回目講座の後アンケートをとった結果、皆「大変満足・満足」を選んでくれていた。おはなし会の雰囲気を感じてもらうために、大型組木・パネルシアターを実演し、何が一番印象に残ったかとの問いには、大型組木をはじめ見たので楽しかった等の回答があった。さきほど

生徒たちが消極的だと言われていたが、皆放送部員なので声を届けるという訓練ができています。また、全員が自ら読み聞かせをしてもらった経験があると回答していた。幼児期の体験というのは中学生になっても、心の中に残っているのだと思う。

どんな本が好きかとの問いには「ぐりとぐら」「でこちゃん」「かいじゅうたちのいるところ」「スイミー」などがあがっていた。

おはなし会でこれから何をしたいかとの問いには、苦手だったパネルシアターや手遊びも、教えてほしいという要望がでていた。

講座を終えて感じたことは、講座が5回目にもなるとみんな積極的になったと思う。本番の際、これまで幼稚園児の前でできることがあまりなかったためか、中には緊張してつまったりする生徒もあったが、観客である幼稚園児から「がんばって」との声かけもあり、終わったらとても大きな拍手があった。ボランティアのおはなし会ではないことで、話し手、聞き手側ともおはなし会を共有できているということだと思う。とても良いものをみせてもらったと思う。

私達にとってもこのような中学生との交流は良い刺激、勉強になり、また講座後は、道で中学生にあうと、声をかけてくれるようになった。図書館を通じて学校と地域がむすびつく良い機会をえたと思う。

事業仕分けで子どもの読書活動関連の事業費が削られている。学校と地域や図書館を結びつけるような事業はこれからも続けていってほしい。

### 3. 言語力の向上をめざす小学校の取り組み～学校図書館の充実で子どもたちの「読みたい」を支援～（中央区）

#### 【南小学校 丹羽教頭】

21年度から学校図書館活性化事業を開始した。南小学校は、昭和62年4月、4つの学校（大宝・芦池・道仁・精華小学校）が統合して

できた学校。児童数172名（単学級で6クラス）。1/3は他国にルーツを持つまたは外国籍の児童。言語レベルは日本語がまったく話せない児童からバイリンガルまで様々。（国籍はフィリピン・中国・韓国・イタリア等）地域は、校区内に「心斎橋」「難波」「長堀橋」「日本橋」の4駅があり、ビル群や大きな商店街がある反面、雑居ビル・マンションもある。校区内には島之内図書館があり、団体貸出等で利用させてもらっている。このような恵まれた環境にもかかわらず、子どもたちの図書館利用率はあまり高くないのが現状。

読書活動の課題には、図書館環境における課題と、児童の読書に関する課題に分けられる。まず、図書館環境における課題としては「本が雑然と並べられ、読みたい本を探しにくい」「掲示物等の変化が少なく、読書意欲を喚起しにくい」「蔵書数が少なく、古い本や修理されていない本が多い」「新刊情報が入っても情報が伝わりにくい」の5点があげられる。

児童の読書に関する課題としては、以下の3点があげられる。「図書館の利用率が低い」、図書館の開放時間が短かったということも影響していると考えられる。また、「漫画や図鑑ばかり読む傾向にある児童は、お話の世界に浸りることができにくい」、特に日本語が上手でない子どもたちは絵や写真の多い漫画や図鑑ばかり読む傾向にある。最後に、「総合的な学習など、調べ学習に十分活用されていない」ということもあげられる。

以上のような課題を抱えるなか、外部の力も借りて子どもたちの読書環境を充実させる方法がないか模索していたところ、19年度からはぐくみネットが立ち上がった。それをきっかけに、おはなし会ができないかと検討、20年に「おはなしQの会」（Qはカルテット＝地域・保護者・児童・学校を意味する）をたちあげた。このおはなし会の大きな成果は、図書館の環境整備、読書のきっかけづくりを多くしてもらったこと。

今年度からの取り組み内容として、まず図書館開放時間の拡大、業間休み、昼休み、放課後に開放することができた。曜日を決めて開放しているが、ボランティアさんの協力によって随時柔軟に対応していただいている。

また、「朝読み」と称して朝の時間に年間各学年2回ずつの読み聞かせを実施。環境整備としては、本の修理、整理整頓、室内ディスプレイ、お薦めの本の紹介をしていただいた。

お話会は、第2・4金曜日の昼休みに予定を組んで、読み聞かせや紙芝居・大型絵本・パネルシアターをしていただいている。

図書館の環境整備を具体的にどのように進めていったかという点、まず「本を検索しやすく、使い易い図書館」、「落ちついた雰囲気でも温かみのある図書館」を目指し、くつろぎ(癒し)の空間・学習センターとしての機能を目指して進めていった。

使いやすさとしては、どこに何があるかわかるようにサインをわかりやすくした。温かみとしては、新刊書のカバーをディスプレイ、月ごとの壁面ディスプレイの充実。また、布でつくった手作りのおはなし会の看板やおはなしのキャラクターのぬいぐるみも図書館の入口やカウンターに飾っている。入った時に楽しいな、この主人公のお話を読んでみたいと思ってもらえ、たくさん本を手にとってもらえている。

また、おはなし会等のお知らせ方法としては図書館カレンダーを作成。カラーで作成し図書館開放日・おはなし会の日などわかりやすいよう工夫し、各学級に配布するとともに玄関や図書館の入口に掲示している。

閲覧スペース等にはおすすめの本や、おはなし会で読む絵本の表紙をカラーコピーして、簡単なあらすじを作成したものを設置。

定例のおはなし会とは別に、特別おはなし会も行っている。二胡の伴奏とともに「スーホの白い馬」の読み聞かせをしたり、拍子木や太鼓をいれた「じごくのそうべえ」の読み聞かせ。また、かたりベライブと称して、音楽室を暗く

して、ピアノの弾き語りとともに語ってもらった。また、島之内図書館で行われていたボランティア研修会を、学校でももらった。おはなし組み木の研修があり、子どもたちの前でまず実演していただき、その後研修という形をとった。

また、男性のボランティアさんによる紙芝居もあり、紙芝居の枠も手作り、子どもたちもとても楽しみにしている。

ボランティアさんの読み聞かせを聞いているうちに、自分たちもやってみたい、音読・朗読をやってみたいという子どもたちが増えてきた。子どもたちの発表の場・機会を増やしていきたいと思い、ボランティアさんに相談したところ、読み方指導を引き受けてくださった。

昼の放送で読み方指導を受けたい児童を募集したところ、30人近く応募があった。6人に絞って、1年生～6年生まで3回に渡って読み方指導をしていただいた。その後、指導を受けた子たちで昼の放送で「スイミー」の読み聞かせを行った。始まるまえは緊張していたが、放送中はとてもいきいきとしていた。終了後は周りからも褒められて次もやりたいと意欲を見せていた。中国からきたばかりの児童も、ボランティアさんからの「楽しくやればいいよ」という声かけを受けていきいきと発表してくれた。

ボランティアさんたちには多くのきっかけづくりをしていただいたと思う。子どもたちは、図書室に行っても読みたい本が見つからないとうろろうろしていたが、カウンターのボランティアさんが本を紹介してくださったり、その場で読み聞かせしてくださったりということもあり、読みたい本が増えてきたことで、読書量が増えている。アンケートの結果でも家での読書量が殖えていた。

また、ボランティアさんのがんばりが刺激になって教師もがんばらないといけないという声もあがっている。

## 【おはなしQの会 井上さん】

周りへの声かけや、学校で募集してもらってメンバーを集め、平成20年度に島之内図書館、絵本の会島之内を見学させてもらって、5月から月1回活動をはじめた。7月のボランティア養成講座に参加し、プログラム・技術的なことを学んだ。意欲的なボランティアが集まったので、自分たちの色を出していこうということで鳴り物入りの読み聞かせなどを行ってきた。

モットーは、自分たちが楽しんで無理はしない・思いついたことについてとりあえずやってみる・全員そろってやるとは考えない・発案者がやってみる。おはなし会も打ち合わせに関しても、現在のメンバー12名のうち10人は仕事に就いているので、全員あつまるのは無理で、出席できる人だけ参加するようにしている。ただ、情報の共有は大切なので、顔を見たら伝える、メールやファックスを活用して連絡をとるようにしている。

学校との連絡を密にすることで、気軽に話ができる環境ができ、成功しているのだと思う。ボランティアが言い出したことをうけとめてくれる学校と、機動性が高いボランティアが揃っている。ただ、ボランティアが入ることによる学校への負担が、できるだけ少ないようにと考えている。

各自の特性をいかして活動をしている。二胡

を習っているものや、声楽を学んだものなど、趣味や特技を活かすようにしている。声楽を学んでいる人は発声の仕方を丁寧に教えてくれた。自由がきき、誰かが助けて欲しいときは助け合うようにしている。

修理・整理は一斉にしないと無理、人手がいるので、図書委員会の子どもたちと一緒に修理をしている。図書館の開放のみにかかわるボランティアもおり、図書館が、地域と子どもたちのふれあいの場になっている。地域で子どもたちの姿を意識するようになった。

子どもの読書の質を高めるためには、蔵書の増加や本の紹介が必要だと思うので、これからまた勉強していけたらと思う。

学校図書館活性化事業について、今年度地域図書館からバックアップしてもらえたのはよかったと思う。経験豊かな図書館ボランティアさんにも疑問に思ったこと、助言をもらえる安心感がある。

実践の研修は、子どもたちの前で実演してもらえると、反応がわかるのでモチベーションがあがる。また、研修会は仕事に就いていると設定日に出席できないため、学校でしてもらうと行きやすくなる。地域図書館が中心になって、区内の他校との交流がとれるようになってよかったと思う。

## ○意見交換

### 学識経験者より

#### 脇谷 邦子（同志社大学嘱託講師）

- ・大阪市では、各区の図書館が情報を把握して子どもの読書活動を推進しており、大都市としては例がない。
- ・今年度の報告から、子ども自身をお客さんにせず巻き込んで展開したことで、子どものよい表情が得られていた。
- ・ボランティアと行政が連携して地域社会をつくっていく試みが進んでいるが、不況が

続いて、ボランティアが続けられなくなった方もあると聞く。リタイアした人を巻き込む等、ボランティアの幅をひろげ、裾野をひろげる工夫がこれからの課題。

- ・今年度は「大阪市子ども読書活動推進計画」の4年目で、到達状況を把握し、総括する作業に入る必要がある。図書館・学校・地域の連携をこれからも続けてほしい。

### 木原 俊行（大阪教育大学教授）

- いろいろな取り組みの多様性があり、その厚みや幅を大阪市は誇るべき。ただ、図書館による関連事業のまとめをみると同じことを続けていたり、重複しているものもあり、リニューアルを積極的に図っていくべきではないか。市、区、学校単位ですべきことの見直しが必要な時期。
- ボランティアによる取り組みが子どもの読書活動推進を支えている。組織化を図ったり、活動の認定や表彰のしくみづくり、市長との昼食会など、活動を評価する方法を探ってみてはどうか。
- 子どもたちの参加を重要視していることは大切だ。いい学びの場が提供されていて、ぜひ続けてほしい。
- 読書が学力向上のいいきっかけになってほしい。読むことを、書くこと・話すこと、表現することへとつなげる統合的な体験を子どもたちが持てるよう、一緒に模索してもらえたら、と思う。

### 大阪市 PTA 協議会より

- One Book One OSAKA 事業について、初めて知った。市の PTA の広報誌に掲載を依頼する等もっと PR が必要だ。
- 夏休み子どもボランティアについて、子どもたちが将来のためにやっているというコメントが最高だった。本が大好きというのは家庭環境だと思う。どういう風に子どもを育てれば本が好きになるのかヒントが隠れていると思う。
- 中学生については、放送部に限らずランダムに声かけをすれば、人数が増えるのではないか。中学生は携帯電話の携帯小説は結構読む。携帯小説を抜粋して、パソコンに引き抜くと読むのではないか。
- 教育委員会は学校と地域の架け橋となるべきだし、PTA 協議会としても協力を惜しまない。

- PTA も、ボランティアという点では共通点が多い。出産祝いに絵本をたくさんもらい、その時はぴんとこなかったが、高校生と中学生の息子たちはいまだにその絵本を大事にしている。よいお祝いをもたらしたと思う。こういう活動を知ることができてよかった。PTA を経験された方などにどんどん声をかけることで、ボランティア活動をされる方が増えていくのではないか。

### 大阪市生涯学習推進員協議会より

- 推進員協議会として、協力している「ルーム教室見学」で、子どもたちが大人に読み聞かせをしている姿を拝見し、このような形の読み聞かせがあってもいいのだと考え、大変感動した。
- 鶴見区でも大勢のボランティアのみなさんが学校で読み聞かせや図書の整理をされている。
- 鶴見図書館と生涯学習推進員連絡会との共催事業も実施している。
- 近年、生涯学習推進員も地域を巻き込んで、「教育コミュニティ」協働社会をめざして現代的、地域的課題をとあげたルーム事業を企画している。
- 私たち推進員はコーディネーター、ボランティアのみなさんと一緒にできることがあれば、連携・協力は惜しまないので、声をかけていただきたい。
- 本年度から地元の小学校で学校図書館活性化事業が始まり、ボランティアを立ちあげて行事に参加している。読み聞かせコーナーを設置したり、幼稚園、保育園を学校に招待したりしており、一緒に活動していきたいと思っている。
- いろいろなアイデアがあって感心したが、楽器・声楽をバックにした読み聞かせが、情操教育としてもとてもよいと印象に残った。



図書館名	館内の催し(実施件数)					子ども読書の記念事業(春)		大阪市図書館フェスティバル(秋)		幼児読書環境整備事業 (家庭館設数/対象施設数)				学校との連携 (件数)							
	絵本の読み聞かせ	ストーリーテリング	紙芝居	人形劇	工作教室	おりがみ教室	乳幼児向けおたのしみ会	内容	参加者数	参加者数	内容	幼稚園	保育所	その他子育て支援施設	ブックスタート 事業実施日	団体貸出件数(校数)	貸出冊数	図書館見学支援	読書学習	おはなし会等読書支援	図書館主任への参加
中央図書館(西區)	116	10	7	3	0	0	20	春のおたのしみ会 「おはなしの時間(自動車文庫)の時間(自動車文庫)」 「おはなしの時間(自動車文庫)」 「おはなしの時間(自動車文庫)」	66 100 84 56 2576	「絵本とともだちを遊ばせよう!」 「おはなしの時間(自動車文庫)」 「おはなしの時間(自動車文庫)」 「おはなしの時間(自動車文庫)」	5 / 5 / 6 / 6 / 1 / 1	第1水曜	34	3,573	19	9	5	0			
北図書館	38	0	0	1	0	0	8	はるのこどもかい	17	とんぼりの人形劇とラプリーシアター	4 / 4	2 / 2	1 / 2	第1金曜	8	983	4	22	5	1	0
都島図書館	39	0	11	1	0	0	14	人形劇「おはなしの時間」 「おはなしの時間」	38	—	1 / 1	5 / 5	1 / 1	第3水曜	8	1,210	7	7	3	4	0
福島図書館	54	2	0	0	0	0	12	ま〜ま〜のび〜のび〜はこ	46	ベントトールでおもちゃ作り「トイ作り」 作り	3 / 3	7 / 7	1 / 1	第1水曜	8	1,011	7	12	7	0	0
此花図書館	14	0	13	1	2	0	13	春の子ども会	29	秋の子ども会	1 / 1	7 / 7	1 / 1	第2火曜	4	229	8	0	14	0	0
島之内図書館(中城區)	35	0	0	1	0	0	12	子ども会	11	工作教室「わいわいねこをつくろう」	5 / 6	2 / 2	2 / 3	第3火曜	8	1,099	4	20	4	2	1
港図書館	52	0	2	0	1	0	11	春の子ども会	12	秋の子ども会 - 紙芝居劇場 -	0 / 1	5 / 6	2 / 2	第4水曜	9	949	9	16	49	4	0
大正図書館	20	23	0	1	0	12	46	工作教室「子ども会」 「おはなしの時間」	12	なはわりの家のこども会	5 / 6	12 / 12	1 / 1	第1火曜(*)	11	2,085	11	6	67	5	0
天王寺図書館	68	0	0	1	0	1	12	はるのこどもかい	9	上町書庫	5 / 5	4 / 4	1 / 1	第3月曜	11	4,130	7	10	4	3	0
浪速図書館	44	0	1	0	0	1	10	牛乳ハンカチでかたり人形! 一人形劇作り体験してみませんか?	13	ぐる〜ぬ! 劇場	3 / 3	11 / 11	2 / 2	第1水曜(*)	7	537	3	7	5	2	9
西淀川図書館	59	13	0	1	2	0	22	ハンドベル演奏とおはなし	40	おはなしコラボ	3 / 3	11 / 11	3 / 3	第4火曜	11	607	16	0	76	3	2
淀川図書館	35	0	0	0	0	1	32	「むか〜も昔、あったとぞ」	10	チラシでカラーページ絵本を作ろう	3 / 3	12 / 12	3 / 4	第1火曜 第3火曜(*)	9	1,219	8	9	0	4	0
東淀川図書館	24	0	10	0	0	1	21	「おはなしの時間」 「おはなしの時間」	13	とんぼりのラプリーシアター	0 / 0	8 / 10	3 / 3	第2水曜 第4水曜	7	624	18	7	5	7	1
東成図書館	50	1	1	0	0	0	11	春のこどもまつり	76	おりがみ教室	4 / 4	4 / 5	1 / 1	第2水曜	11	2,874	6	18	6	1	3
生野図書館	7	0	9	1	1	2	12	春のこども会	20	秋のこども会ぐる〜ぬ! 劇場	1 / 1	7 / 7	1 / 2	第1水曜 第3水曜(*)	7	457	9	11	78	7	1
旭図書館	54	0	0	2	1	8	12	とんぼりの人形劇とラプリーシアター	50	劇作りで楽しむ! ハリエンアート	1 / 1	7 / 8	1 / 1	第4水曜	13	2,462	5	17	11	3	2
城東図書館	48	1	0	2	1	0	12	春のこども会	33	秋のこども会	2 / 2	6 / 6	3 / 3	第1月曜 第3月曜	14	2,043	13	26	9	4	0
鶴見図書館	48	0	0	2	2	7	14	ちいさな子のためのおたのしみ会 「おはなしの時間」	25	くみどりのおはなしとどろこライプ	1 / 1	4 / 5	1 / 2	第2月曜 第4月曜	7	761	8	10	12	4	1
阿倍野図書館	43	10	0	1	0	0	33	おはなし大会	39	—	0 / 0	4 / 4	1 / 2	第1水曜	9	915	7	3	2	1	0
住之江図書館	46	0	0	2	3	0	10	えほんで遊ぼう!	14	くみどりの秋風ライプ とんぼり制作でねこをしよう!	2 / 2	7 / 7	2 / 2	第2火曜 第3水曜(*)	7	900	11	9	4	2	3
住吉図書館	54	9	0	1	3	1	50	はるのおはなし大会	29	秋のおはなし大会	2 / 2	4 / 4	3 / 3	第2水曜 第4水曜	14	2,826	10	11	6	1	3
東住吉図書館	67	0	0	0	0	5	7	みんなと赤きんぎょと絵本であそぼう!	29	おはなしの広場	0 / 0	10 / 10	2 / 5	第1月曜 第3水曜	17	3,247	8	17	72	4	5
平野図書館	76	0	0	1	12	12	31	キッズシアター「かみさうせんごのこども会」	93	リーディンググループ「おはなしの広場」	6 / 6	12 / 13	2 / 3	第1金曜 第3金曜	22	5,224	8	15	98	6	7
西成図書館	42	0	0	0	1	0	11	おたのしみ会	4	おはなしの広場	3 / 3	12 / 14	4 / 5	第4火曜	8	593	5	5	11	3	1
合計	1,133	69	54	21	30	51	436	837	3894	60 / 63 / 169 / 178 / 43 / 54	60 / 63 / 169 / 178 / 43 / 54	60 / 63 / 169 / 178 / 43 / 54	60 / 63 / 169 / 178 / 43 / 54	264	40,358	211	2,671	553	76	39	

\*平成21年12月からモリル受給

	学校図書館活性化事業実施校				ボランティア養成・ステップアップ		区の子どもの読書活動推進ステーション 連絡会開催日	自動車文庫 ステーション 回数
	18年度 継続校	19年度 継続校	20年度 継続校	21年度 新規校	参加者 (総人 数)	回数		
中央図書館(西區)	1	0	1	2	18	810	9月30日 3月2日	1
北図書館	1	1	3	4	12	96	3月16日	4
都島図書館	1	1	2	2	14	78	2月19日	3
福島図書館	1	0	3	3	10	84	2月25日	1
此花図書館	1	1	1	4	14	65	6月25日 3月12日	3
島之内図書館(中央区)	1	1	0	5	19	164	2月26日	1
港図書館	1	1	3	4	19	194	3月18日	2
大正図書館	1	1	3	3	8	46	2月26日	2
天王寺図書館	1	1	0	2	9	59	2月23日	1
浪速図書館	1	1	3	2	7	93	2月19日	1
西淀川図書館	1	2	1	4	19	193	3月2日	4
淀川図書館	1	3	4	5	20	199	3月5日	8
東淀川図書館	1	1	3	8	36	473	7月10日 3月16日	11
東成図書館	0	1	3	7	1	4	1月19日	1
生野図書館	0	1	4	6	7	142	9月15日 2月23日	3
旭図書館	1	1	2	3	21	240	11月26日	1
城東図書館	2	0	3	5	7	39	1月27日	7
鶴見図書館	1	1	1	4	6	38	6月9日 3月5日	3
阿倍野図書館	1	1	4	1	13	127	10月21日	4
住之江図書館	1	0	3	6	16	155	3月9日	6
住吉図書館	1	2	1	5	13	199	2月26日	8
東住吉図書館	2	0	3	6	18	153	3月26日	3
平野図書館	1	2	2	10	16	261	2月23日	10
西成図書館	1	1	1	7	13	104	3月16日	2
合計	24校	24校	54校	108校	336	4,016		90

平成21年度子ども読書活動推進事業について〔市民学習振興担当分〕

1. 事業名 「大阪市子ども読書活動推進計画」の普及啓発

2. 事業内容 「大阪市子ども読書活動推進計画」の普及啓発のため、『子どものための施設ガイドタッチ』に啓発記事（2ページ）を掲載し配布

- (1) 発行部数 205,000部
- (2) 発行日 平成21年4月28日
- (3) 配布先 市立小中学校全児童生徒、市立図書館ほか
- (4) 内容詳細 配布資料参照

平成21年度 学校図書館活性化事業のまとめ

1. 本事業の趣旨

学校・家庭・地域が連携して、児童が最も身近に本に接する場所である学校図書館の整備をはじめとする読書環境の充実を進め、児童の読書意欲の醸成と読書習慣の確立を図る。

2. 本事業の背景

大阪府教育委員会では、平成18年3月に「大阪市子ども読書活動推進計画」を策定し、子どもたちが自主的に読書に取り組むことができよう、家庭・地域・図書館・学校が連携・協力して子ども読書環境の整備・充実に努めてきた。その一環として、平成18・19年度に「学校図書館支援モデル事業」を実施して、学校図書館の開館時間の延長をはじめとする児童の読書環境の整備に取り組んできた。

一方、平成19年度から実施されてきた、「全国学力・学習状況調査」の結果分析によると、本市児童生徒は、思考力・判断力・表現力等が問われる読解や記述式の問題、知識・技能を「活用」する問題において課題がみられ、すべての学力の基礎となる言語力の向上が喫緊の課題となっている。

文部科学省が行っている同調査の分析において、読書習慣や読書への嗜好と学力との間には相関関係があることが示されている。さらに、家や図書館で読書をする時間が長い児童生徒の方が、学校の授業以外での勉強時間が長いという、読書習慣と学習時間との間にも相関関係があることが明らかになっている。

こうした結果から、子どもたちの読書意欲の醸成と読書習慣の定着を図ることが、言語力ひいては学力の向上に不可欠であることは明らかであるが、本市においては、読書が好きと回答した児童生徒の割合は全国平均より低く、さらに家や図書館で普段、読書を全くしていない児童生徒の割合は全国平均より高いという残念な結果が出ている。

「学校図書館支援モデル事業」の成果と課題を引き継ぎ、さらに、こうした課題をふまえ、平成20年度より新たに「学校図書館活性化事業」を実施している。  
本事業は、平成22年度には大阪府立全小学校での実施を予定している。

### 3. 平成21年度実施校

別添「平成21年度 学校図書館活性化事業実施校一覧」参照

### 4. 学校図書館支援ボランティアの活動状況

#### ◆ボランティアによる学校図書館の開館状況

- (別添「平成21年度 学校図書館活性化事業 中間報告 4-2」参照)
- ・ボランティアが学校図書館の開館に関わっている学校は実施校の半数を超えている。
  - ・開館頻度は、週1回が最も多く、開館時間帯は、昼休みが最も多い。
  - ・開館時間は1校につき、週あたり平均約90分で、昨年度の中間時点での調査とほぼ変わらない。

### 5. 「学校図書館支援ボランティア講座」の実施について

#### ◆必須講座の実施状況について

- ・参加者の総計は631名(教職員含む)。
- ◆実践講座の実施状況について
- ・参加者の総計は1,173名(教職員含む)。
- ・実施された講座のうち、最も多かったのは「本の修理」、「絵本の読み聞かせ入門編」。次いで「絵本の読み聞かせ実践編」となっている。

#### ◆ステップアップ講座の実施状況について

- ・参加者の総計は351名(教職員含む)。

### 6. 本事業の効果について

#### ◆児童の読書量について

- (別添「平成21年度 学校図書館活性化事業 中間報告 6」参照)
- ・「事業実施前後を比較して、児童は本をよく読むようになりましたか。」という質問に対し、4分の3が、「よく読むようになった」「どちらかというど読むようになった」と回答している。
  - ・その理由として最も多いのは、「読み聞かせ等によって、児童が本に興味を持つようになったから」であり、次いで、「学校図書館の環境がよくなったから」となっている。

#### ◆貸出冊数について

(別添「平成21年度 学校図書館活性化事業 中間報告 7」参照)

- ・「事業実施前後を比較して、学校図書館での貸出冊数は増加しましたか。」という質問に対しては、約6割が、「増加した」と回答している。

### 7. 課題について

#### ◆ボランティアの確保

ボランティアの確保が難しいという声が多い。また、活動を継続するためのモチベーションの維持についても課題となっている。

#### ◆蔵書・設備の充実

蔵書の充実はもちろんのこと、設備の老朽化や図書館が行きにくい場所にあるといった、ハード面での不備をあげる学校が多い。

#### ◆活動予算の確保

ボランティアの活動費、必要な消耗品等を自由に購入できる予算の確保を望む声が多い。

#### ◆研修回数・内容の充実

ボランティア研修の充実を望む声が多い。

経験年数を経たボランティアへの研修、新たに活動を始めるボランティアに対する研修、場所・日程の設定等、要望が多岐にわたっている。

#### ◆児童の図書館利用の促進

せっかく開放していても、児童が図書館に来ない、もしくは、限られた児童のみが利用しているという課題があげられている。

#### ◆実践交流会について

年1回だけでなく、開催回数を増やしてほしいという要望があげられている。

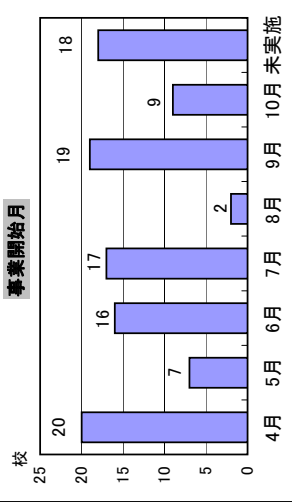
# 平成21年度学校図書館活性化事業中間報告

調査月：平成21年10月  
 対象：平成21年度学校図書館活性化事業実施校210校 ※回収校数210校

## 1. 事業開始月

4月	20校
5月	7校
6月	16校
7月	17校
8月	2校
9月	19校
10月	9校
未実施	18校

※平成21年度開始校108校中108校の回答

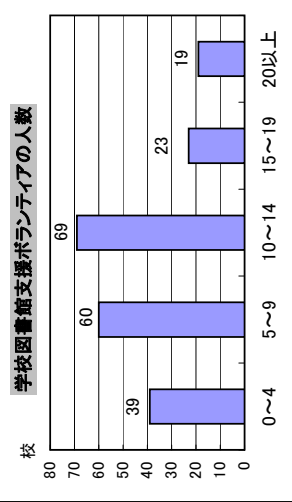


## 2. 学校図書館支援ボランティアの人数

ボランティア人数合計	2223名
1校あたり平均	10.6名

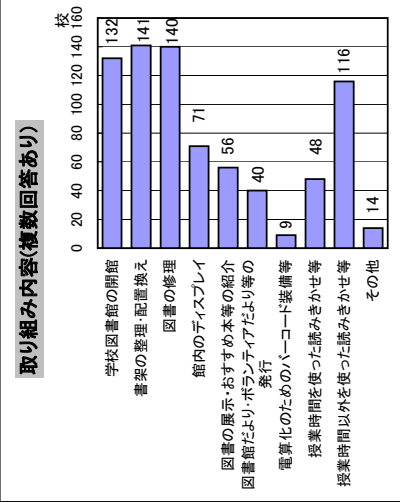
※平成21年度学校図書館活性化事業実施校210校の平均

ボランティア人数(名)	
0~4	39校
5~9	60校
10~14	69校
15~19	23校
20以上	19校



## 3. 取り組み内容

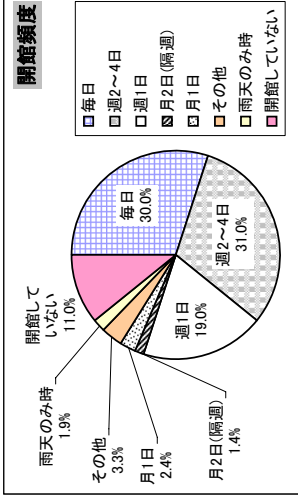
学校図書館の開館	132校
書架の整理・配置換え	141校
図書の修理	140校
館内のディスプレイ	71校
図書の展示・おすすりめ本の紹介	56校
図書館だより・ボランティアだより等の発行	40校
電算化のためのバーコード装備等	9校
授業時間を使った読みかせ等	48校
授業時間以外を使った読みかせ等	116校
その他	14校



## 4. 平成21年度の閉館状況 4-1. 授業時間以外の閉館状況

### 閉館頻度

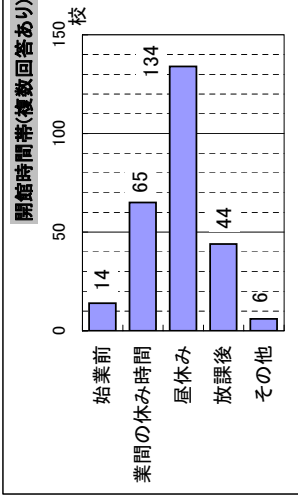
毎日	63校
週2~4日	65校
週1日	40校
月2日(隔週)	3校
月1日	5校
その他	7校
雨天のみ時	4校
閉館していない	23校



### 閉館時間帯(複数回答あり)

授業前	14校
業間の休み時間	65校
屋休み	134校
放課後	44校
その他	6校

※授業時間以外に閉館している187校の回答

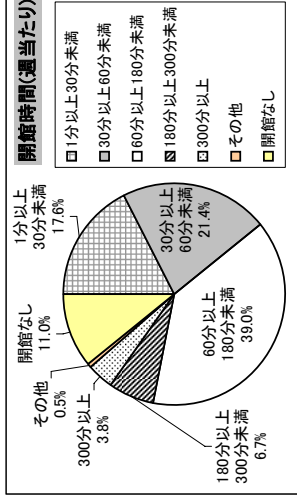


### 閉館時間(週当たり)

合計	17249分
平均	82.1分

※平成21年度学校図書館活性化事業実施校210校の平均

1分以上30分未満	37校
30分以上60分未満	45校
60分以上180分未満	82校
180分以上300分未満	14校
300分以上	8校
その他(◆)	1校
閉館なし	23校



◆不定期に閉館しているため、閉館時間数が不明  
 ※平成21年度学校図書館活性化事業実施校210校の回答

#### 4-2. 授業時間以外の開館状況(ボランティアによる開館状況)

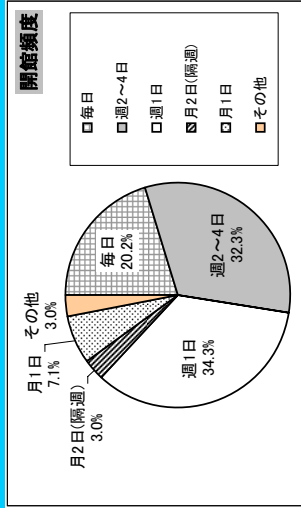
開館にボランティアが関わっている	99校
開館にボランティアが関わっていない	88校

※授業時間以外に開館している187校の回答

##### 開館頻度

毎日	20校
週2~4日	32校
週1日	34校
月2日(隔週)	3校
月1日	7校
その他	3校

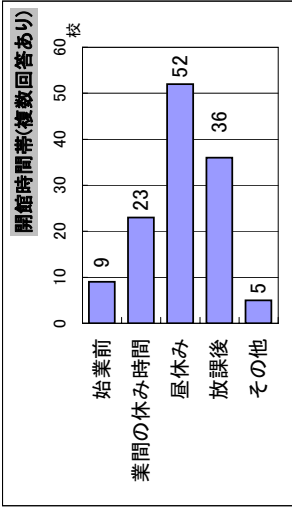
※開館にボランティアが関わっている89校の回答



##### 開館時間帯(複数回答あり)

始業前	9校
業間の休み時間	23校
昼休み	52校
放課後	36校
その他	5校

※開館にボランティアが関わっている89校の回答



##### 開館時間(週当たり)

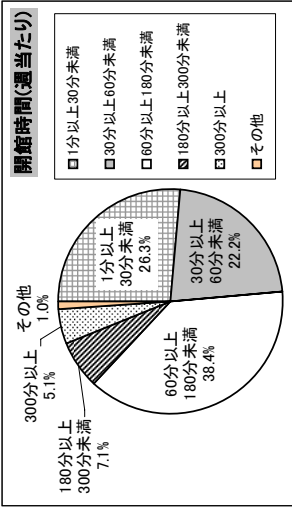
合計	9122分
平均	92.1分

※開館にボランティアが関わっている89校の平均

1分以上30分未満	26校
30分以上60分未満	22校
60分以上180分未満	38校
180分以上300分未満	7校
300分以上	5校
その他(◆)	1校

◆不定期に開館しているため、開館時間数が不明

※開館にボランティアが関わっている89校の回答



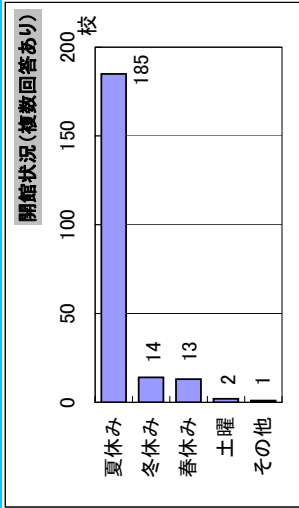
#### 4-3. 課業外の開館状況

開館した(する予定)	185校
開館しなかった	25校

##### 開館状況(複数回答あり)

夏休み	185校
冬休み	14校
春休み	13校
土曜	2校
その他	1校

※開館した(する予定)の185校の回答



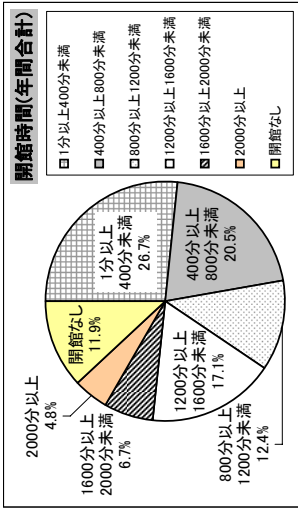
##### 開館時間(年間合計)

合計	163177分
平均	777.0分

※平成21年度学校図書館活性化事業実施校210校の平均

1分以上400分未満	56校
400分以上800分未満	43校
800分以上1200分未満	26校
1200分以上1600分未満	36校
1600分以上2000分未満	14校
2000分以上	10校
開館なし	25校

※平成21年度学校図書館活性化事業実施校210校の平均



#### 4-4. 課業外の開館状況(ボランティアによる開館)

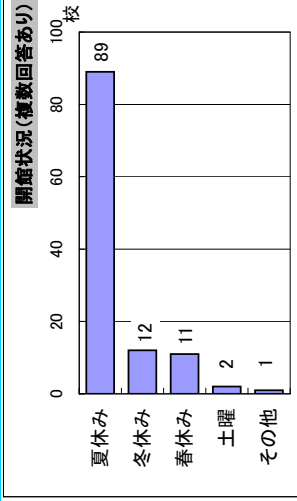
開館にボランティアが関わっている	92校
開館にボランティアが関わっていない	93校

※開館した(する予定)の185校の回答

#### 開館状況(複数回答あり)

夏休み	89校
冬休み	12校
春休み	11校
土曜	2校
その他	1校

※開館にボランティアが関わっている82校の回答



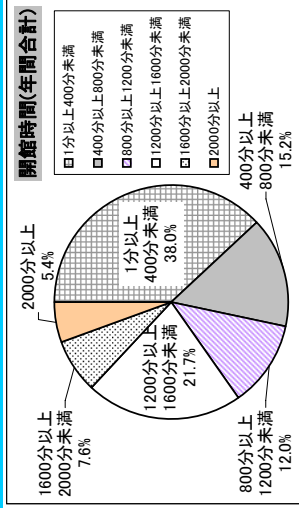
#### 開館時間(年間合計)

合計	81342分
平均	884.2分

※開館にボランティアが関わっている82校の平均

1分以上400分未満	35校
400分以上800分未満	14校
800分以上1200分未満	11校
1200分以上1600分未満	20校
1600分以上2000分未満	7校
2000分以上	5校

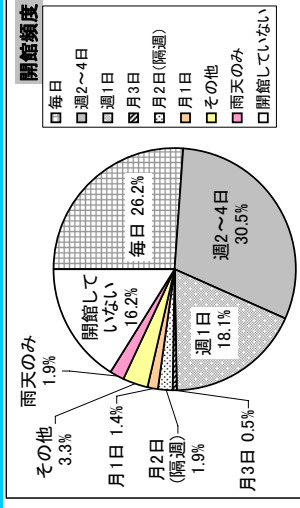
※開館にボランティアが関わっている82校の回答



#### 5. 平成20年度の開館状況 5-1. 授業時間以外の開館状況

##### 開館頻度

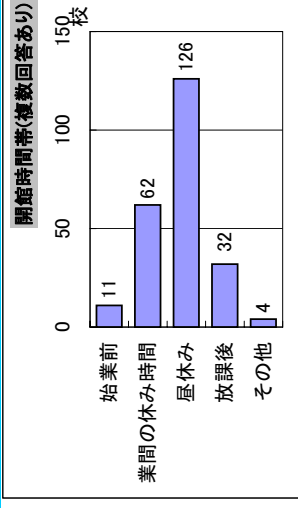
毎日	55校
週2~4日	64校
週1日	38校
月3日	1校
月2日(隔週)	4校
月1日	3校
その他	7校
雨天のみ	4校
開館していない	34校



##### 開館時間帯(複数回答あり)

始業前	11校
業間の休み時間	62校
昼休み	126校
放課後	32校
その他	4校

※授業時間以外に開館している176校の回答



##### 開館時間(週当たり)

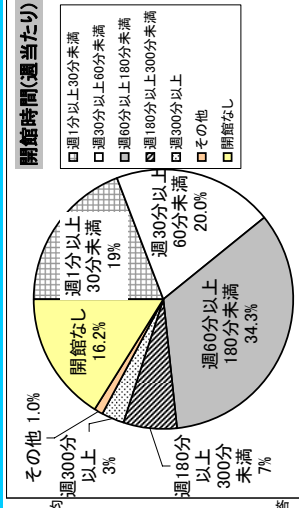
合計	15191分
平均	72.3分

※平成21年度学校図書館活性化事業実施校210校の平均

週1分以上30分未満	40校
週30分以上60分未満	42校
週60分以上180分未満	72校
週180分以上300分未満	14校
週300分以上	6校
その他(◆)	2校
開館なし	34校

◆不定期に開館しているため、開館時間数が不明

※平成21年度学校図書館活性化事業実施校210校の回答



### 5-2. 授業時間以外の開館状況(ボランティアによる開館状況)

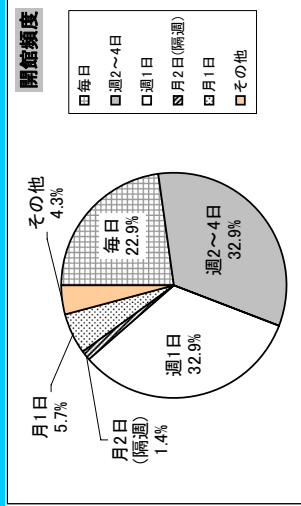
開館にボランティアが関わっている	70校
開館にボランティアが関わっていない	106校

※授業時間以外に開館している176校の回答

#### 開館頻度

毎日	16校
週2~4日	23校
週1日	23校
月2日(隔週)	1校
月1日	4校
その他	3校

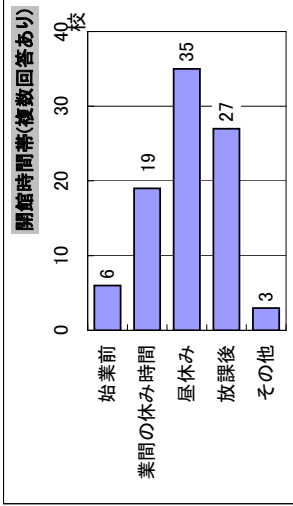
※開館にボランティアが関わっている70校の回答



#### 開館時間帯(複数回答あり)

始業前	6校
業間の休み時間	19校
昼休み	35校
放課後	27校
その他	3校

※開館にボランティアが関わっている70校の回答



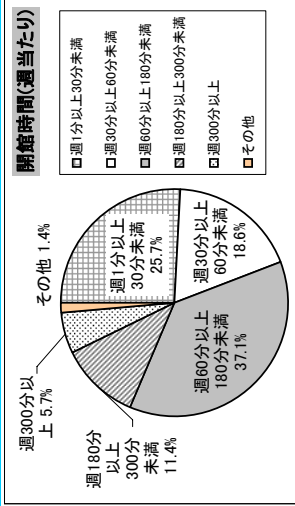
#### 開館時間(週当たり)

合計	7510分
平均	107.3分

※開館にボランティアが関わっている70校の回答

週1分以上30分未満	18校
週30分以上60分未満	13校
週60分以上180分未満	26校
週180分以上300分未満	8校
週300分以上	4校
その他(◆)	1校

◆不定期に開館しているため、開館時間が不明  
※開館にボランティアが関わっている70校の回答



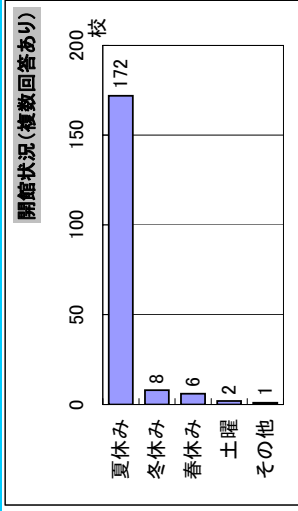
### 5-3. 授業外の開館状況

開館した	173校
開館しなかった	37校

#### 開館状況(複数回答あり)

夏休み	172校
冬休み	8校
春休み	6校
土曜	2校
その他	1校

※開館した173校の回答



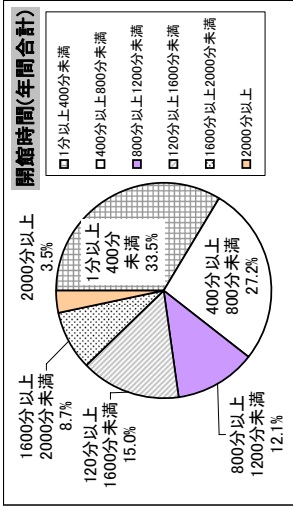
#### 開館時間(年間合計)

合計	139182分
平均	804.5分

※開館した173校の平均

1分以上400分未満	58校
400分以上800分未満	47校
800分以上1200分未満	21校
1200分以上1600分未満	26校
1600分以上2000分未満	15校
2000分以上	6校

※開館した173校の回答





5-4. 課業外(夏休み等)の開館状況(ボランティアによる開館状況)

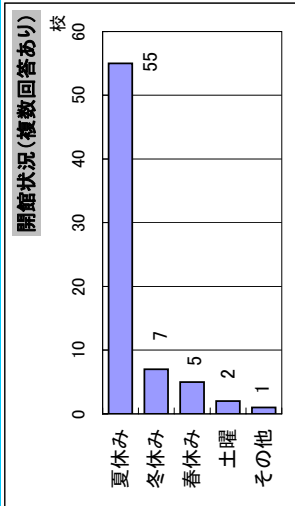
開館にボランティアが関わっている	58校
開館にボランティアが関わっていない	115校

※開館した173校の回答

開館状況(複数回答あり)

夏休み	55校
冬休み	7校
春休み	5校
土曜	2校
その他	1校

※開館にボランティアが関わっている58校の回答



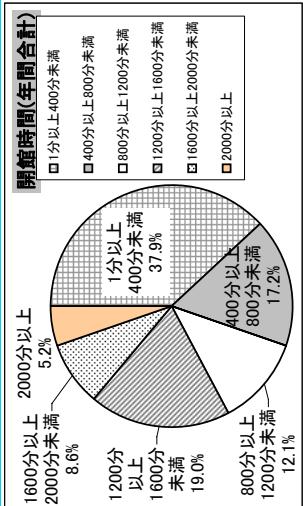
開館時間(年間合計)

合計	51240分
平均	883.4分

※開館にボランティアが関わっている58校の平均

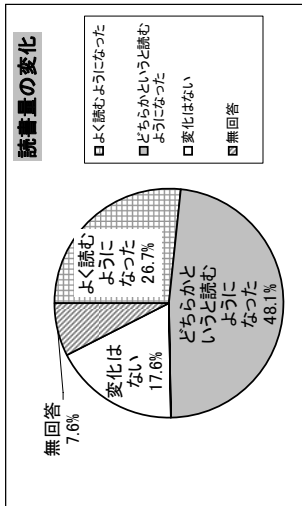
1分以上400分未満	22校
400分以上800分未満	10校
800分以上1200分未満	7校
1200分以上1600分未満	11校
1600分以上2000分未満	5校
2000分以上	3校

※開館にボランティアが関わっている58校の回答



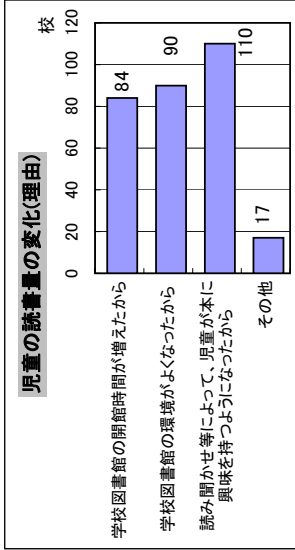
6. 事業実施前後を比較して、児童は本をよく読むようになりましたか。

よく読むようになった	56校
どちらかという読むようになった	101校
変化はない	37校
無回答	16校



6-1. その理由(複数回答あり)

学校図書館の開館時間が増えたから	84校
学校図書館の環境がよくなったから	90校
読み聞かせ等によって、児童が本に興味を持つようになったから	110校
その他	17校

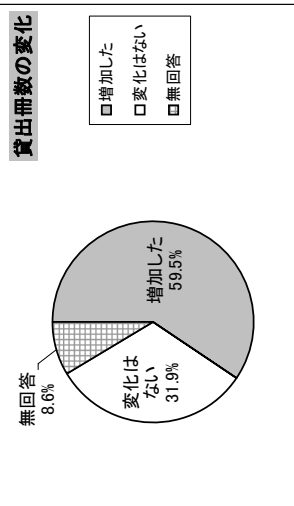


【その他意見】

- 朝の読書タイムを設けたから
- 教職員の意識が高まったから
- 国語科を本校の研究教科にしたから
- 事業実施以前から継続した取り組み(平成17年から、図書館の開放、朗読、お話し会など)を行ったから
- 自動車文庫が月1回来校するから
- データベース化により貸出が容易になったから
- 読書ノートを活用し、読書への意欲を高めたから
- ポランディアが数名いることで本が探しやすくなったから
- ポランディアさんの工夫、クイズ出題、川柳
- ポランディアの方々のふれあいや声かけがあるから

7. 事業実施前後を比較して、学校図書館での貸出冊数は増加しましたか。

増加した	125校
変化はない	67校
減少した	0校
無回答	18校



平成21年度学校図書館活性化事業実施校一覧

	区	学校名
1	北	滝川
2	北	堀川
3	北	菅北
4	北	豊崎本庄
5	北	中津
6	北	中津南
7	北	豊仁
8	北	豊崎
9	北	弘済
10	都島	桜宮
11	都島	中野
12	都島	淀川
13	都島	都島
14	都島	東都島
15	都島	友淵
16	福島	玉川
17	福島	野田
18	福島	吉野
19	福島	大開
20	福島	鷺洲
21	福島	海老江東
22	福島	上福島
23	此花	西九条
24	此花	四貫島
25	此花	島屋
26	此花	伝法
27	此花	梅香
28	此花	高見
29	此花	春日出
30	中央	玉造
31	中央	南大江
32	中央	中大江
33	中央	開平
34	中央	高津
35	中央	南
36	中央	中央
37	西	日吉
38	西	九条南
39	西	本田
40	西	明治
41	港	市岡
42	港	三先
43	港	田中
44	港	八幡屋
45	港	波除
46	港	南市岡
47	港	港晴
48	港	弁天
49	港	池島
50	大正	泉尾東
51	大正	北恩加島
52	大正	南恩加島
53	大正	鶴町
54	大正	泉尾北
55	大正	平尾
56	大正	三軒家東
57	大正	鶴浜
58	天王寺	桃陽
59	天王寺	五条
60	天王寺	大江
61	天王寺	天王寺
62	浪速	栄
63	浪速	大国
64	浪速	恵美
65	浪速	日東
66	浪速	日本橋
67	浪速	敷津
68	浪速	難波元町
69	西淀川	姫里
70	西淀川	福

	区	学校名
71	西淀川	川北
72	西淀川	香篝
73	西淀川	歌島
74	西淀川	佃西
75	西淀川	佃南
76	西淀川	御幣島
77	淀川	神津
78	淀川	田川
79	淀川	加島
80	淀川	三津屋
81	淀川	新高
82	淀川	野中
83	淀川	十三
84	淀川	木川
85	淀川	三国
86	淀川	北中島
87	淀川	塚本
88	淀川	西三国
89	淀川	宮原
90	東淀川	東淡路
91	東淀川	西淡路
92	東淀川	菅原
93	東淀川	大隅東
94	東淀川	豊里
95	東淀川	啓発
96	東淀川	小松
97	東淀川	下新庄
98	東淀川	井高野
99	東淀川	大桐
100	東淀川	豊新
101	東淀川	大隅西
102	東淀川	大道南
103	東成	東小橋
104	東成	大成
105	東成	中道
106	東成	北中道
107	東成	中本
108	東成	東中本
109	東成	今里
110	東成	片江
111	東成	神路
112	東成	深江
113	東成	宝栄
114	生野	北鶴橋
115	生野	御幸森
116	生野	勝山
117	生野	中川
118	生野	東中川
119	生野	小路
120	生野	東小路
121	生野	舍利寺
122	生野	巽
123	生野	西生野
124	生野	巽南
125	旭	清水
126	旭	大宮
127	旭	高殿
128	旭	大宮西
129	旭	城北
130	旭	新森小路
131	旭	高殿南
132	城東	榎並
133	城東	関目
134	城東	鯉江
135	城東	聖賢
136	城東	成育
137	城東	東中浜
138	城東	放出
139	城東	関目東
140	城東	森之宮

	区	学校名
141	城東	鯉江東
142	鶴見	鶴見
143	鶴見	今津
144	鶴見	茨田西
145	鶴見	横堤
146	鶴見	みどり
147	鶴見	鶴見南
148	鶴見	茨田
149	阿倍野	常盤
150	阿倍野	丸山
151	阿倍野	晴明丘
152	阿倍野	阿倍野
153	阿倍野	阪南
154	阿倍野	長池
155	阿倍野	晴明丘南
156	住之江	粉浜
157	住之江	加賀屋
158	住之江	住吉川
159	住之江	北粉浜
160	住之江	住之江
161	住之江	平林
162	住之江	加賀屋東
163	住之江	南港緑
164	住之江	南港渚
165	住之江	清江
166	住吉	長居
167	住吉	依羅
168	住吉	墨江
169	住吉	遠里小野
170	住吉	清水丘
171	住吉	南住吉
172	住吉	山之内
173	住吉	苅田北
174	住吉	南住吉大空
175	東住吉	北田辺
176	東住吉	田辺
177	東住吉	東田辺
178	東住吉	南田辺
179	東住吉	南百済
180	東住吉	鷹合
181	東住吉	今川
182	東住吉	矢田東
183	東住吉	矢田西
184	東住吉	矢田北
185	東住吉	湯里
186	平野	喜連
187	平野	平野西
188	平野	平野
189	平野	長吉
190	平野	加美南部
191	平野	平野南
192	平野	長吉南
193	平野	瓜破北
194	平野	長原
195	平野	喜連東
196	平野	長吉六反
197	平野	加美北
198	平野	瓜破西
199	平野	加美東
200	平野	新平野西
201	西成	萩之茶屋
202	西成	岸里
203	西成	玉出
204	西成	千本
205	西成	梅南
206	西成	弘治
207	西成	松之宮
208	西成	長橋
209	西成	北津守
210	西成	南津守

## 平成 21 年度 各区子ども読書活動推進連絡会 報告

### 1. 実施状況

「平成 21 年度大阪市立図書館子ども読書活動推進関係事業のまとめ」のとおり

### 2. 構成

ボランティアグループ、区役所生涯学習担当、保健福祉センター地域保健福祉担当・子育て支援室、保育所、子育て支援センター、子ども・子育てプラザ、幼稚園、小学校（学校図書館活性化事業実施校）、中学校、区社会福祉協議会、区コミュニティ協会、生涯学習推進員連絡会など

### 3. 主な報告・協議内容

#### (1) 子育て支援の場での取り組み

子育て支援センター等での読書活動の広がりが報告された。ブックスタート事業の変更にかかわって、モデルとして実施方法を変更している区から主に意見が寄せられた。障害がある子どもに対する読書支援活動のあり方について、話し合われた。

#### ① 子育て支援センターや子ども・子育てプラザ等施設での読書支援活動の広がり

- 子ども・子育てプラザで絵本を介して親子でコミュニケーションをとることにつながるような行事を行っている。
- 絵本の会の活動が私立保育園にも広がった。(天王寺他)
- 地域ふれあい子育て教室7箇所「赤ちゃんと絵本」をテーマに講演会実施。
- 子育て支援センターで、落ち着きのない子どもとその親に、読み聞かせなどを通して粘り強く働きかけることで、改善の兆しが見えてきた。(東淀川)
- 子育て支援担当が出席講座で子育てについて話をするとき、絵本は欠かせない。子育てサロンで絵本について相談を受け、面展台を作成した。

- 子育て支援センターで月に 1 回絵本の会に読み聞かせをしてもっており、親子での読み聞かせが定着してきた。好きな絵本の投票を行い、希望の多い絵本を購入した。(城東)
- 子育て支援センターでは、絵本についての質問がけっこうあり、どんな絵本を選んだらいいかなど助言している。(鶴見他)
- 子育て支援センターから3か月に1回子育てサロンを訪問し、支援センター通信を参加者、施設に配布している。図書館やボランティアも、サロンをときどき訪問して、事業の紹介や読み聞かせなどしてみてもどうか。(西成)
- 保育所全体で食育に取り組みなかで、絵本(そらまめくんのベッド)と本物を結びつけるなど、絵本にでてくるものと具体的にわかかわる試みをしている。(西)
- 「つどいの広場」で絵本を設置、母親が読んであげることが少なく子どもが自分で手にとっている。スタッフが読んであげると喜んでくれる。(福島)
- 区の子育て情報誌に絵本の紹介コーナーを新設したいと原稿依頼があった。当面図書館員が原稿を書き、将来的には絵本の会のメンバーにも書いていただく予定(中央)

#### ② ブックスタートの変更にかかわってモデル区での意見交換を中心に

- 全体に広報が不足していて、参加者が少ない。区の子育て情報誌を創刊したので、ブックスタートの広報にも役立っています。広く広報する必要があります。(淀川)
- 子育て支援センターでは、予約は少ないが上向き傾向。ボランティアが赤ちゃんと絵本を読むところを他の利用者(親子連れ)が目にして、良い印象を受けている様子だった。乳幼児健診会場で行うほうが、参加率が非常に高くなるため、確実に多人数に絵本を渡して話ができ良かったのではないかと思います。
- 図書館や新ブックスタート実施施設でも、現在の参加者の少なさには危惧を感じている。各乳幼児健診会場の状況について、保健福祉センターに様子をお聞きしながら、何らかの読書活動推進の働きかけができないかを検討したい。(住之江)
- ブックスタートのやり方が変わっても、保健福祉センターでの子どもが本と触れる機会を残したい。ボランティアだけでも3か月健診時に来てもらえないか。(北)

#### ③ 障害がある子どもへの読書支援活動

- おもちゃ図書館で水・土曜日に絵本を読んだり、わらべうたを歌ったりしている。絵本をとても楽しみにしている。(福島)
- おもちゃ図書館は自由参加で、遊びながら障害のある子どもとの交流の場となっている。小学校へおはなし会にいったときも、クラスには多動性の子どもがいる場合があるが、自分に興味がある話やおもしろいお話なら聞いてくれる。先生が無理やり聞かせることもあり、騒いでしまうこともある。立ち歩いてもらってもいいのと思うこともあり、自分の興味のあることで見えてくれたら、やっただ、と思う。(平野)
- 「言葉の教室」でも絵本・わらべうた・手遊びなどを行っている。絵本の大切さも伝え、子どもたちどうまく関わってほしいと思う。(東淀川)

#### (2) 学校での取り組み

学校図書館活性化事業実施校が200校を越え、ボランティアの活動や学校教育の中での取り組みが報告された。区単位で実践交流会が実施され、連絡会との連携、効果的な情報交換のあり方等今後の課題である。

#### ① 小学校

##### 【ボランティアの活動】

[学校図書館活性化事業ボランティア]

- 蔵書が少ないため、本を増やす取り組み。牛乳パック回収で資金集め。ようやく各学年に1冊ずつぐらい買えるところまでできた。
- 小学生になると、大人が読みたい本と、子どもが読みたい本との乖離がある。そこをどうつなげていくか。内容的にも古い本が目立つので、廃棄についても図書館からアドバイスを願います。家庭に眠っている本の活用方法を模索。(北)
- 人権啓発講座の一環としておはなし会を実施したり、新1年生向けの劇仕立てのマナー教育、リサイクル本の募集等の活動(都島)

・活動は定着し、学期のおわりに学校もはいつて反省会を行う。学年ごとの読み聞かせやブックトーク等も実施し、本好きの子が育ち、本に親しむことができていると感じる。

(城東)

・主体みの図書室開放は図書委員の子どもたちが担当しているが、ボランティアも参加しており昼休みの早い時間から開放できるようになった。子ども親だけでなく祖父母が協力するなど積極的に開放を進めている。参観・懇談日午後の図書室開放も検討中。地域のボランティア活動が世代を超えて広がればと願っている。

ボランティアの参加により書架整頓が行き届くようになった。ボランティアのおすすり本を図書日より載せることを検討中。(阿倍野)

【図書室おはなしボランティア】

・小学校は区内23校あるが、ほとんどの小学校のおはなし会へ行っており、また6学年すべての実施を希望される学校も多く、年間の延べ回数はおはなしの回数になっている。日程が決まったら、選書で一回、練習で一回、本番で一回と最低三回は集まり練習をしている。45分間の授業時間を預かっているという意識を共有し、メンバー全員、真剣に取り組んでいる。(平野)

・今年度はおはなし会を小学校4校、中学校1校で実施。過去最高11校だったが、減ってきているのは学校図書活性化事業のボランティアが育ってきているからと思われる。ゆめ基金を受けて行なったボランティア養成講座に、区内の学校図書ボランティアにも、東淀川区内のネットワーク作りのために声をかけて参加してもらった。2、3年目になると何を読んでいいのか悩んでおられるようだ。(東淀川)

【図書委員の活動など学校の読書活動】

・図書委員会活動で6年生が低学年に読み聞かせをしている。(此花)

・図書委員が昼休みに図書室開放をしているほか、読書週間におすすり本の紹介、手作りのしおりのプレゼント(本を借りるとシールがもらえて10枚たまるともらえる)、読み聞かせクイズなど。図書委員になったことで本に触れる機会が増え本好きになった子もいる。(福島)

・校長も各教室に読み聞かせで参加。学校として読書の熱があがっていることを感じる。図書館から「ふたりのはいつも」のシリーズを借りて、1・2年生に読ませる授業を行った。(浪速)

・地域に呼びかけ図書の寄贈を呼びかけたら300冊も集まり、その後も年間60〜70冊ほど集まっている。読書タイムは定着しつつあるので、質の向上を図りたい。(住吉)

②中学校

・国語科と連携した取り組み。1年生はグループブックトーク(自分の好きな本の読書感想文を書き、さらにテーマを絞ってペーパーサートなどを使いブックトーク)2年生はブックシェアリング(読書の本を学校玄関に飾り、本の感想を1枚の葉に書いて貼り付ける)活動計画を職員会議で提出し、協力を要請している。(西)

・学校図書館は特定の子が利用していて貸出は少ない。2年生の図書館利用が少ないので、

図書館での調べ学習を課題に取り入れた。先生が読み聞かせも。放送部で読み聞かせの講座を受け、最終回には五条幼稚園でおはなし会を実施した。図書委員のほかに生徒のボランティアもいて、ブックトークなどをしてくれる。図書主任の先生以外も協力的。(天王寺)

③特別支援校

月・水の20分だけ図書室を開放している。PTAのおはなし会もこの時間に行っている。現在分類順に本を配列しているが、生徒は本を探せない。書名の50音順などに配列したほうがいいのか検討中。

障害の程度に非常に幅があるので本選びに苦慮している。本の絵本を授業に取り入れたところ大変好評だった。(旭)

(3)地域との連携の場での取り組み

さまざまな施設と連携した絵本展の取り組みが広がっている。連絡会として読書マップや行事カレンダーの作成、ボランティアコーディネーターとの連携等が議論された。

①絵本展の開催など

・引き継ぎ区の事業として取り組む。区内の子育て支援センターなどでのミニ絵本展開催も広がった。(西淀川)

・磯路小学校の放課後いきいき活動で絵本ひろば(60冊ほどだったが子どもたちが互いに絵本を紹介しあうなど読みあいが生まれていた)、4月にスマイル広場、はぐくみネット、いきいきとの共催で南市岡小学校で絵本ひろば開催予定(港)

・子育て支援施設と連携して取り組む(大正他)

・ふれあいバンジューでバリアフリー絵本展を実施。

区全体で子どもを見ていく井戸端会議を月1回開催している。子どもは大人の鏡で、区役所全体でバックアップしていかねばならないと思う。「子ども」がキーワードとなる活動の連絡会のようなものがあるが、(東成)

②連絡会としての取り組み強化

・区全体でイベント(食育とかをテーマに)や、おはなしのしいでの区版のようなのができるか。(西)

・読書マップについて、読書に特化した内容のマップを作ればよいと思う。連絡会で把握していない、読み聞かせのサークルや書店などの情報も入れられたらよい。そのような情報をどうやって掘り起こすかが課題。(天王寺他)

・年度はじめに区内の子育て関連行事の年間スケジュールがあれば、各施設が情報を共有できて動きやすい。(浪速)

・ボランティアコーディネーターは、学校とのつながりがあるがあまりない。一方にボランティアの需要があり、もう一方でボランティアをいたいという方が地域にはいらつしやる。橋渡しの役割などできないだろうか。(北)

**平成 21 年度 One Book One OSAKA 事業のこれまでの経過**

(1) 広報

- (2月) 予算プレス
- 7/6 (月) 実施プレス発表 (大阪市ホームページ、図書館ホームページで紹介)  
市立図書館 24 館でポスター掲示、チラシ配付
- 以下の大阪市関連の媒体へ掲載
  - 「いちよう並木」9月号
  - 「市政だより」2月号
  - 「大阪市モバイル携帯サイト」
  - 「大阪市メールマガジン」
  - 「大阪市子育て・高立支援メールマガジン 私も子どもも育める」  
メール配信 (8/17～2月末)
  - 西区・港区・住之江区・城東区ほか、各区の広報誌に掲載
  - ラジオ「馬場章夫の新大阪大発見！」(9/27 放送)
- 大阪市関連以外の媒体へ掲載
  - 産経新聞朝刊に記事掲載 (7/11)  
みんなで決めよう「大阪市の 1 冊の絵本」
  - 各区の地域情報サイト等
  - 「大阪人」10月号掲載  
宝物を教えてくださいー One Book One OSAKA ー
  - 産経新聞に記事掲載 (11/26)  
「ぐりとぐら」1位 大阪市民の「1冊の絵本」中間発表
  - 「フェリシモ ブックポートクラブ」に掲載  
本のある風景「One Book One OSAKA 事業」
- 図書館ホームページで NEWS 発行
  - One Book One OSAKA 1号 (2009年10月)
  - One Book One OSAKA 2号 (2009年12月)
  - One Book One OSAKA 3号 (2010年1月)

(2) 関係局・団体への事業説明・協力依頼

- 4月 こども青少年局子育て支援部  
市立保育所ブロック総括管理職会議

- 市立幼稚園幹事園長会
- 6月 市立小学校幹事校長会
- 7月 私立保育園連盟理事会  
中央図書館おはなしたのしいでえ実行委員会 in 大阪実行委員会
- 市立保育所ブロック総括管理職会議
- 市立幼稚園幹事園長会
- 区役所区長会議
- 区役所生涯学習係長会
- 子ども・子育てプラザ担当マネージャー会

(3) チラシ・ポスター配付状況

- 7/6 (月) 中央図書館でチラシ・ポスター・投票箱設置開始
- 7/7 (火) 地域図書館でチラシ・ポスター・投票箱設置開始  
幼児期読書環境整備事業対象施設への配本時にチラシ・ポスター配付
- 7/8 (水) 順次、以下の施設にチラシ・ポスター・投票箱等、順次配付開始  
市立小学校、市立保育所・市立幼稚園、  
区役所、子ども・子育て支援プラザ、地域保育所子育て支援センター
- ※ 私立幼稚園・私立保育園については、団体貸出便で配付

(4) 運営委員会・部会・展示等

- 7/29 (水) 第1回 One Book One OSAKA 事業運営委員会開催
- 11/20 (金) ～12/2 (水)  
中央図書館1階エントランスホールにて投票用紙 (747枚) 展示
- 12/1 (火) 予備選定部会開催
- 12/21 (月) ～子ども運営委員公募
- 1/5 (火) ～2/28 (日)  
中央図書館1階玄関前にて、投票用紙 (約200枚) 展示
- 3/25 (木) 第1回 One Book One OSAKA 事業子ども運営委員会開催
- 3/30 (火) 第2回 One Book One OSAKA 事業運営委員会開催
- (4/23 (金) One Book One OSAKA 2010 発表会 開催予定)

(5) One Book One OSAKA 事業 絵本講座・世代間交流事業

- モデル区 (西・大正・浪速・東成区) の老人福祉センター等の高齢者施設で、  
絵本講座を 11 回開催、区役所・図書館等で世代間交流事業を、計 4 回開催

## 「夏休み期間の子どもボランティア活動の取り組み」

旭図書館 ボランティアグループ「本のとびら」

高石 恵

水永 智子

### 1. これまでの経緯

- 18 年度『子どもボランティア講座』(5 回) 7/27, 7/28, 8/10, 8/11, 8/26  
講師 小林康代(人形劇団コマルテ)(地域ボランティア活動推進事業)
- 19 年度『子どもボランティア講座』(5 回) 8/1, 8/8, 8/11, 8/22, 8/29  
講師 「絵本の会あさひ」(家庭教育支援総合推進事業)  
主催:大阪市「絵本を子育てに」実行委員会
- 20 年度『子どもボランティア養成講座』(7 回)  
7/30, 8/1, 8/6, 8/13, 8/20, 8/27, 8/30  
講師 村田せつ子(「なにわ語り部の会」)、「本のとびら」  
(地域ですすめるこどもの仕事体験・ボランティア化活動支援事業)

### 2. 21 年度の「子どもボランティア養成講座」の内容

日程:7/31, 8/4, 8/11, 8/19, 8/25, 8/29 (6 回)

サマースクールシティ事業(子ども青少年局)

申込人数:21 名(小一・2 名、小二・1 名、小三・2 名、小四・6 名、小五 5 名、小六・3 名、中学生 2 名)

実際の参加:

- 7 月 31 日 絵本の読み方や図書館の仕事の説明 希望を確認(12 名)
- 8 月 4 日 絵本の読み方の練習や図書館の仕事の実習(行事 12 名・仕事 2 名)
- 8 月 11 日 おはなし会の実施(7 名)、図書館の仕事(5 名)
- 8 月 19 日 おはなし会の実施(6 名)、図書館の仕事(7 名)
- 8 月 25 日 おはなし会の実施(6 名)、図書館の仕事(5 名)
- 8 月 29 日 おはなし会の実施(7 名)、図書館の仕事(4 名) 区民まつり協賛

ケーブルTVの取材:大阪市政広報ケーブルTV「OSAKAほっとタイム」

取材日:8 月 25 日

放送日時:平成 21 年 9 月 26 日(土)~10 月 9 日(金) 15 時~、22 時~

窓口:情報公開室

### 3. 子どもボランティア活動を支援して

### なつやす 夏休み こともボランティア 養成講座

あなたも図書館で「おはなしボランティア」や  
図書館の仕事を体験してみませんか？  
すてきな夏休みになりますよ！

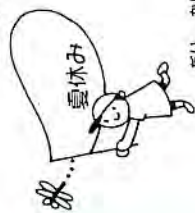


第1回 7月31日(金) 絵本やかみしばいなどを読んでみよう！

第2回 8月4日(火) 絵本やかみしばいなどを読んでみよう！

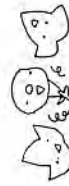
第3-5回 8月11日(火)・19日(水)・25日(火)  
図書館にくる子どもたちにおはなし会 と図書館の仕事体験

第6回 8月29日(土) 区民まつり おはなし広場  
★(3回以上参加してください)



第1回 14時～15時20分 ☆第2-5回 10時10分～11時30分  
☆第6回 11時～11時30分

対象：小学生以上  
講師：ボランティアグループ「本のとびら」のみなさん  
定員：15名  
場所：大阪市立旭図書館多目的室  
参加費：無料



お申し込み先： 大阪市立旭図書館(電話06-6955-0307)

(ふりがな)

お名前

電話 ( )

学校 年生

☆参加予定の日(○をつけてください) 7/31 8/4 8/11 8/19 8/25 8/29

お申込みの際にお伺いした個人情報は、当講座に関する連絡にのみ使用し、事業終了後は廃棄処分いたします。

# 子どもボランティアおはなし会

「夏休み 子どもボランティア養成講座」を受けた小学生・中学生が、  
小さな子どもたちに絵本の読み聞かせや紙芝居をします。

ちよっとドキドキだけど、みんないっしょうけんめい練習しました。  
ぜひ、みんな来てください！！

また、同じ日に図書館の仕事をお手伝いしている子どもボランティアもいます。

8月11日(火) 11時～11時30分  
8月19日(水) 11時～11時30分  
8月25日(火) 11時～11時30分



8月29日(土) 11時～11時30分 《区民まつり協賛》

場所：旭図書館 多目的室

出演：子どもボランティアのみなさんと

ボランティアグループ「本のとびら」のみなさん

参加費：無料

定員：当日定員50名



問い合わせ：大阪市立旭図書館 (電話06-6955-0307)

# 子どもボランティアによるお話し会

8月11日

## プログラム

1. 手遊び歌・Zひきののねずみ

2. 紙芝居・ねずみのしっぺ

3. 絵本・ペーコンわすれちゃだめよ

4. 紙芝居・びんびんぼんぼん

5. 大型絵本・おぼけパーティー

6. 紙芝居・おさじさん

7. パネルシアター・カシャーライズをつくろう

参加者

子ども 11人

大人 8人

参加者

子ども 15人

大人 8人

8月25日

## プログラム

●はじめのあいさつ

1. 紙芝居・ごろん

2. 絵本・どろんこハリ-

3. 絵本・ペーコンわすれちゃだめよ

4. 大型絵本・ありとすいか

5. 紙芝居・にげたクレヨン

6. パネル・おいしいバナナ

●あわりのあいさつ

参加者

子ども 10人

大人 9人

8月29日

## プログラム

●はじめのあいさつ

1. 手遊び・2匹のねずみ

2. 乗話・はじまりのおはなし

3. 絵本・ふしぎなおるすばん

4. パネル・カシャーライズをつくろう

5. 絵本・わたしのワンピース

6. 紙芝居・わらしべ長者

7. 絵本・うずらちゃんのかくれんぼ

8. 大型絵本・しりとりのだいすきなおうさま

9. パネル・おいしいバナナ

●あわりのあいさつ

参加者

子ども 13人

大人 6人

8月19日

## プログラム

1. 手遊び・2匹のねずみ

2. 絵本・ともだちがほしいの

3. 大型絵本・ありとすいか

4. 紙芝居・おぼけのアメーバー

5. 大型絵本・きょだいなきょだいな

6. 紙芝居・わらしべ長者

7. パネル・おいしいバナナ



中学生によるおはなしボランティア講座を受けて

大阪市立夕陽丘中学校

放送部顧問 山口 昌美

放送部のメンバーでおはなし会をしてみたい（07年4月～）

中学生もおはなし会を（09年3月4日）

大阪府青少年おはなしボランティア講座を受けて

（09年8月21日～計5回）

中学校と図書館とのつながり

これからの課題

## 講座内容

日時	テーマ	内容	参加人数
8月21日	絵本とは	絵本を読むことは	3年生 3人
	おはなし会とは	読み聞かせの方法,ポイント	2年生 2人
		おはなし会の仕方	1年生 2人
		絵本の紹介	
9月15日	絵本を選ぶ	愛を伝える、命を育む絵本	3年生 2人
		5W1Hを考えて選ぶ	2年生 3人
		絵本の紹介	1年生 2人
10月20日	絵本を読む	パネルシアターの楽しさ	2年生 4人
	プログラム作り	手遊びの楽しさを知る	1年生 2人
		選んだ本を精選する	
11月10日	予行練習	実際に読んでみて批評しあう	2年生 5人
		プログラム順の最終決定	1年生 2人
(12月5日	天王寺図書館でおはなし会実施	)	
12月7日	おはなし会実施	五条幼稚園	2年生 5人
	反省会		1年生 2人

## プログラム

- オープニング ( ハンドベル ジングルベルの一節)
- 1 紙芝居 「くつしたの中のプレゼント」
  - 2 大型絵本 「まどから おくりもの」
  - 3 絵本 「うしろに いるのだあれ みずのなかまたち」
  - 4 パネルシアター 「カレーライス」  
手遊び
  - 5 おはなし 「コートのはなし」
  - 6 大型絵本 「ぐりとぐらの おきやくさま」
- エンディング ( ハンドベル きよしこのよるの一節)

## 学校図書館活性化事業報告



## 南小学校の系譜

大宝小学校

芦池小学校

道仁小学校



南小学校

(昭和62年4月統合)

精華小学校(平成7年4月統合)

## 本校の実態

**規模:**児童数172名(単学級で6クラス)

転出入が激しく年間20人程度の移動がある

1/3は 他国にルーツを持つ児童 または 外国籍(約60名)

言語レベルは 日本語がまったく話せない ~ バイリンガルまで  
( フィリピン、中国、韓国etc. 14カ国から )

**地域:**大阪・ミナミの中心

校区内に「心斎橋」「難波」「長堀橋」「日本橋」の4駅がある  
ビル群や大きな商店街がある反面、雑居ビル・マンションもある  
校区内に島之内図書館がある

## 読書活動における課題

(1) 図書館環境における課題

(2) 児童の読書に関する課題

### (1) 図書館環境における課題

- 本が雑然と並べられ、読みたい本を探しにくい。
- 掲示物等の変化が少なく、読書意欲を喚起しにくい。
- 蔵書数が少なく、古い本や修理されていない本が多い。
- 新刊情報が入っても情報が伝わりにくい。

### (2) 児童の読書に関する課題

- 図書館の利用率が低い。
- 漫画や、図鑑ばかり読む傾向にある児童は、お話の世界に浸りきることができにくい。
- 総合的な学習など、調べ学習に十分活用されていない。

## 読書活動推進の実際

### 本年度の取り組み

1. 図書館の環境整備
2. 読書へのきっかけ作り

## 取り組み内容



- 図書館開放（業間休み、昼休み、放課後）
- 朝読み（年間各学年2回ずつの読み聞かせ）
- 環境整備（本修理、整理整頓、室内ディスプレイ、お勧め本の紹介）
- お話会（第2、4金曜日の昼休み）

## 朝読み



## 図書館の環境整備

- 本を検索しやすく、使い易い図書館
- 落ちついた雰囲気でもかみのある図書館



くつろぎ(癒し)の空間・学習センターとしての機能

## 使いやすさ



## 温かみ





## お知らせ方法

図書館へ茶を飲みに来てね!

12月  
December

図書館へ茶を飲みに来てね!

2月  
February

図書館へ茶を飲みに来てね!

3月  
March

毎月図書館開放、お話し会、朝読みなどの予定表を作成し、各学級へ配布

### 特別お話し会① 伴奏とともに

二胡の伴奏と  
「スーホの白い馬」

### 特別お話し会②

拍子木・太鼓を入れた「じごくのそうべえ」

### 特別お話し会③ かたりベライブ

ほっかいさんの  
かたりベライブ

物語に力のある『絵本』を題材に、美しい旋律の中、ゆったりと語りかけます。語り手の「言葉」が身体を通り抜ける瞬間、「忘れかけていた気持ち」、「本当の自分」が蘇る。そんな素敵な「時間」を共に過ごしませんか？心おだやかにして、静かに「音」と「お話」に耳を傾けてみてください。

### 特別お話し会④ お話し組み木



多くの本との出会い・きっかけ作り

↓

- **読書量の増加**
- **意欲的な言語活動へ**

楽しくボランティア活動をするために・・・

- ○無理なく、楽しくをモットーに
- ○学校と連携を密に
- ○各人の特性を生かして
  - ・ディスプレイ担当
  - ・読み聞かせ担当
  - ・開放担当
- etc

## 大阪府子ども読書活動推進計画(案) 概要-

### 第1章 基本的な考え方

#### 1 子どもの読書活動とは

子どもにとって読書とは、さまざまな世界との出会いであり、言葉を学び、表現力や創造力を豊かなものとするうえで欠くことができないものです。

#### 2 推進計画策定の背景

子どもの読書活動に関する施策の総合的、計画的な推進を図るため、「子どもの読書活動推進に関する法律」が平成13年に施行され、同法によって国と地方公共団体は、子どもの読書活動の推進計画を策定・公表することが定められました。

#### 3 基本的な方針

すべての子どもたちが自主的に読書に取り組むことができよう、家庭や地域、図書館、学校が連携・協力し、子どもの読書環境の整備・充実、普及・啓発、人と本、人と人を結びつける人材の育成、地域・市民を軸とした読書活動の輪の形成に取り組みます。

### 第2章 推進のための具体的な取り組み

#### 1 家庭、地域における子どもの読書活動の推進

乳幼児にとって、大好きな人が自分のために語りかけてくれることは大きな喜びであり、人間の信頼感を築き、やがて言葉の獲得につながります。

ブックスタート事業の効果を高め、乳幼児と保護者が絵本に触れ合う機会が増えるよう、情報提供の拡充、継続的な働きかけに努めるとともに、子どもに身近な施設で読書を楽しめる環境づくりに取り組めます。また、各施設と子育てグループ、図書館間でネットワークづくりを図り、子どもの読書に対する理解を深めます。

#### 2 図書館における子どもの読書活動の推進

子どもにとって図書館は、ひとりの利用者として、自由に読みたい本を選び、読書の楽しさを体験し、貸出などのサービスを受けることができる場であり、本の検索等を通し、求める資料・情報を見つけたり、豊かに広がる知識・情報の世界に触れられる場でもあります。各図書館ごとに重点事業計画を立て、蔵書の充実や絵本や物語を楽しむ機会の拡充など、サービスの充実に取り組み、図書館が地域における子どもの読書活動推進の相談・支援センターとしての機能を果たします。また、各種講座や交流会の開催等、子どもの読書活動支援にかかわるボランティアの交流、支援に努めます。

#### 3 学校における子どもの読書活動の推進

学校教育では従来から各教科等での学習を通じて読書活動が行われており、読書習慣を形成していくうえでも大きな役割を担っています。さらに、読書タイムや読みかきかせの充実を図るなど、各学校が積極的に読書活動の推進・充実に努めます。

子どもの主体的な学習活動を支え、読書活動を通じて子どもの人間形成を育む場として、学校図書館の役割は極めて重要であり、学校図書館司教諭が学校図書館の運営に十分な役割を果たすことができるよう、教職員の協力体制の確立、校務分掌上の配慮などに努めます。

家庭・地域が連携して子どもの読書活動支援に取り組む事例などを収集し、各学校へ発信するよう努めます。

#### 4 子どもの読書支援活動への理解と意識の向上

図書館のホームページ上でコンテンツを豊富にするなど、さまざまな機会を活用し、市民への情報提供や子どもの読書に対する理解・関心が高まるよう努めます。

#### 5 関係機関の連携・協力

子どもの「生きる力」の育成をめざすという教育改革の理念は、家庭や地域、学校が連携・協力して実現するものであり、地域社会の中で子どもを育てる教育コミュニティの再生を図ることが必要です。「すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において、自主的に読書を行うことができるよう」支援するために、家庭、地域、図書館、学校の連携を推進します。

学校図書館の活性化を図るため、学校と図書館との連携を強化し、学校と図書館の連携モデル事業等の研究を進めます。

図書館の幼児期読書環境整備事業について、対象施設の拡充を検討し、乳幼児親子が身近に絵本に親しめる環境づくりを目指します。

### 第3章 計画を推進するための重点施策

#### 1 推進体制の整備

区レベルで、図書館、学校、子どもの読書活動推進にかかわる関係機関、読書支援活動ボランティア等で構成する「子どもの読書活動推進連絡会(仮称)」を設置し、市民参加による推進体制を整備します。

#### 2 普及・啓発活動の推進

#### 3 家庭、地域、図書館、学校における子どもの読書活動の推進

家庭、図書館や子どもの身近な施設、学校、のそれぞれが子どもが読書に親しむ機会の充実に努めます。

#### 4 連携による子どもの読書活動の推進

子どもの読書にかかわるさまざまな施設が連携・協力しながら、子どもの読書活動を豊かにできよう、図書館が積極的な情報収集・提供に努め、地域の子ども読書活動の相談・支援センターとしての役割を果たします。

大阪府子どもの読書活動推進連絡会設置要綱

(設置)

第1条 「大阪府子ども読書活動推進計画」(平成18年3月策定)に基づき、本市のすべての子どもたちが、さまざまな機会と場所において読書の喜びを味わい、読書を通して生きる力を身につけていくことができるよう、各区で行う子どもの読書支援活動の連携を進めるため「大阪府子どもの読書活動推進連絡会」(以下「推進連絡会」という)を設置する。

2 各区において学校や図書館その他の関係機関及び民間団体・グループが、それぞれの課題を理解しながら協力して取り組み、子どもの読書活動を推進するため、各区に「区子どもの読書活動推進連絡会」(以下「区の推進連絡会」という)を設置する。

(所掌事務)

第2条 「推進連絡会」は、次の各号に掲げる事項について協議を行う。

- (1) 区の「区の推進連絡会」での協議の集約に関すること。
  - (2) 子ども読書の日(4月23日)記念事業他関係団体等が行う読書支援活動の状況把握に関すること。
  - (3) 子どもの読書支援活動を推進するための広報啓発事業に関すること。
  - (4) その他、子どもの読書支援活動推進のために必要な事項に関すること。
- 2 「区の推進連絡会」は、次の各号に掲げる事項について協議を行う。
- (1) 地域における子どもの読書支援活動に関する情報発信に関すること。
  - (2) 施設間、団体間の情報交換や他の区の子どもの読書支援活動の紹介・交流に関すること。
  - (3) 学校図書館支援モデル事業の進捗状況の報告に関すること。
  - (4) 学校における子どもの読書支援活動についての情報の共有化に関すること。
  - (5) 子ども対象の読みかせやおはなし会、子どもの読書支援活動に関する講座の開催に関すること。
  - (6) その他、区における子どもの読書支援活動推進のために必要な事項に関すること。

(構成)

第3条 「推進連絡会」は、別表に掲げる団体等の代表者(推薦された者)により構成する。

2 「区の推進連絡会」は、各区内の図書館、学校、幼稚園、保育所、区役所、保健福祉センター、子ども・子育てプラザ、子育てサロンなど、子どもの読書活動に関わる関係機関の職員および読書支援活動グループ等の代表者の参加により、開催する。

(座長)

第4条 「推進連絡会」に、座長を置く。

2 座長は、「推進連絡会」の構成員の互選により選出する。

(「区の推進連絡会」の代表者)

第5条 各「区の推進連絡会」に、代表者を置く。

2 代表者は、各「区の推進連絡会」の構成員の互選により選出する。

(事務局)

第5条 「推進連絡会」の事務局は大阪府立中央図書館利用サービス担当に置く。

2 各「区の推進連絡会」の事務局は各区の大阪府立図書館に置く。

(会議)

第6条 「推進連絡会」は、事務局が構成員を招集して開催する。

2 各「区の推進連絡会」は、事務局が構成員を招集して開催する。

(施行の細則)

第7条 この要綱の施行について必要な事項は、事務局が定める。

附則 この要綱は平成19年7月17日から施行する。

(別表)

大阪府子どもの読書活動推進連絡会の構成

順不同

- ・ 各区の「子どもの読書活動推進連絡会」代表者
- ・ 大阪府PTA協議会
- ・ 大阪府生涯学習推進員協議会
- ・ 大阪府教育委員会事務局 生涯学習部
- ・ 大阪府教育委員会事務局 指導部
- ・ 大阪府立図書館
- ・ 学識経験者



平成21年度大阪市子どもの読書活動推進連絡会出席予定者名簿

(平成22年3月30日)

お名前 (敬称略)	代表区分	所属・役職名等
脇谷 邦子	学識経験者	同志社大学嘱託講師、元府立図書館こども資料室長
木原 俊行	学識経験者	大阪教育大学教授
中村 仁志	社会教育関係団体	大阪市PTA協議会広報委員長
吉村 久美	社会教育関係団体	大阪市PTA協議会研修委員長
宮田 満憂美	社会教育関係団体	大阪市生涯学習推進員協議会運営委員長
柳本 真知子	社会教育関係団体	大阪市生涯学習推進員協議会副運営委員長
西澤 恵子	社会教育関係団体	大阪市生涯学習推進員協議会副運営委員長
大月 佳代子	区の子どもの読書活動推進連絡会代表	北 中津小学校PTA副会長、学校図書館支援ボランティア
北西 奈穂子	同上	都島 桜宮小学校 ボランティア「さくぼん」
福山 千恵子	同上	福島 絵本の会福島 代表
辻 廉子	同上	此花 此花図書館 絵本の会
釣島 恭子	同上	中央 絵本の会 島之内 代表
丹羽 和江		中央 南小学校 教頭
牧野 真美	同上	西 絵本の会 西代表
永田 勝枝	同上	港 絵本の会 みなと 代表
福元 美保	同上	大正 おはなしボランティア アナシ 代表
河野 京子	同上	天王寺 絵本の会・天王寺 代表
山口 昌美		夕陽丘中学校教諭 (図書主任・放送部顧問)
上田 道代	同上	浪速 なにわえほんの会
鵜久森 典子	同上	西淀川 絵本の会、西淀川ぼけっと 代表
蔵満 美奈子	同上	淀川 「おはなしグーチョキパー」 代表
渡邊 裕美子	同上	東淀川 おはなしボランティアとことこ代表
大内 和子	同上	東成 絵本の会東成 代表
田中 弘子	同上	生野 あじさいブッククラブ
高石 恵	同上	旭 本のとびら 代表
水永 智子		本のとびら
寺嶋 郁子	同上	城東 城東絵本の会 代表
室屋 佐知子	同上	鶴見 絵本の会 鶴見 代表
吉原 美紀	同上	阿倍野 おはなしとんとん
宮城 真理子	同上	住之江 絵本の会 住之江
山田 逸子	同上	住吉 住吉絵本の会 代表
江川 勝代	同上	東住吉 おはなしたまてばこ代表
田中 紀子	同上	平野 おはなし「たからばこ
堀谷 エミ子	同上	西成 絵本の会 西成

平成21年度大阪市子どもの読書活動推進連絡会事務局名簿

(平成22年3月30日)

教育委員会事務局中央図書館

所 属	氏 名
中央図書館館長	吉原 康文
中央図書館副館長	小西 和夫
中央図書館総務担当課長	森本 保彦
中央図書館利用サービス担当課長	高橋 俊郎
中央図書館地域サービス担当課長	大久保 典子
中央図書館地域サービス担当課長代理	小前 恭則
中央図書館利用サービス担当課長代理	松下 玲子
中央図書館利用サービス担当課長代理	川窪 和子
中央図書館 担当係長	赤堀 祐子
〃 〃	島上 智司
〃 〃	井上 由美子
〃 〃	林 隆子
〃 〃	縣 和世
北図書館長	吉田 和彦
都島図書館長	波多野 恵子
福島図書館長	池上 也之保
此花図書館長	成元 勝
島之内図書館長	島津 秀信
港図書館長	中田 夕子
大正図書館長	阪田 佳子
天王寺図書館長	藤江 千恵
浪速図書館長	波床 裕子
西淀川図書館長	齋藤 健一
淀川図書館長	瀬楽 訓子
東淀川図書館長	齊藤 美子
東成図書館長	平田 満子
生野図書館長	川嶋 恵子
旭図書館長	藤井 直美
城東図書館長	米川 くりえ
鶴見図書館長	山田 和伸
阿倍野図書館長	滝澤 裕美子
住之江図書館長	鎌田 恵子
住吉図書館長	角田 人志
東住吉図書館長	縞居 章子
平野図書館長	柴田 晴美
西成図書館長	浅川 裕俊

教育委員会事務局指導部

所 属	氏 名
初等教育担当 首席指導主事	赤銅 久和
指導部 担当係長	田野 晶子

教育委員会事務局生涯学習部

所 属	氏 名
市民学習振興担当課長	岡本 和夫
生涯学習部 副参事兼担当係長	樋上 佳史

「大阪市子どもの読書活動推進連絡会」実施報告書 平成22年(2010年)9月

大阪市教育委員会 〒530-8201 大阪市北区中之島1-3-20